

令和5年度科学研究費助成事業「学術変革領域研究（A）」に係る中間評価結果

領域番号	20A302	領域略称名	不均一環境と植物
研究領域名	不均一環境変動に対する植物のレジリエンスを支える多層的情報統御の分子機構		
領域代表者名 (所属等)	松下 智直 (京都大学・大学院理学研究科・教授)		

(評価結果)

A (研究領域の設定目的に照らして、期待どおりの進展が認められる)

(評価結果の所見)

本研究領域は、時空間的に不均一な環境下での植物の頑健かつ柔軟でダイナミックな適応能力に着目し、この適応能力の分子機構を解明することを目的としている。これまで着実に成果を上げつつあり、発表された論文の多くがトップジャーナルに掲載されている点は高く評価できる。さらに、研究領域のマネジメントの観点からは、領域代表者が確立した解析技術を研究領域内で共有し、大きなシナジー効果を発揮するとともに、多くの若手研究者の昇進が実現するなど、若手研究者の育成プログラムが有効に機能していると評価できる。

領域代表者が明らかにした「転写開始点変化によるプロテオーム多様化」は、転写制御に関する新しい機構の発見につながる可能性を秘めており、今後の更なる発展に期待したい。また、動物と植物での機構を比較した新しい概念を構築し一般化できるか、あるいは、植物独自なものとしての制御機構を明らかにできるかなど、一般原理への今後の追究に期待したい。